あなたとまちのコミュニケーション情報紙　うみ彦・やま彦・夢産地

広報あさひ

No.471
11
1994

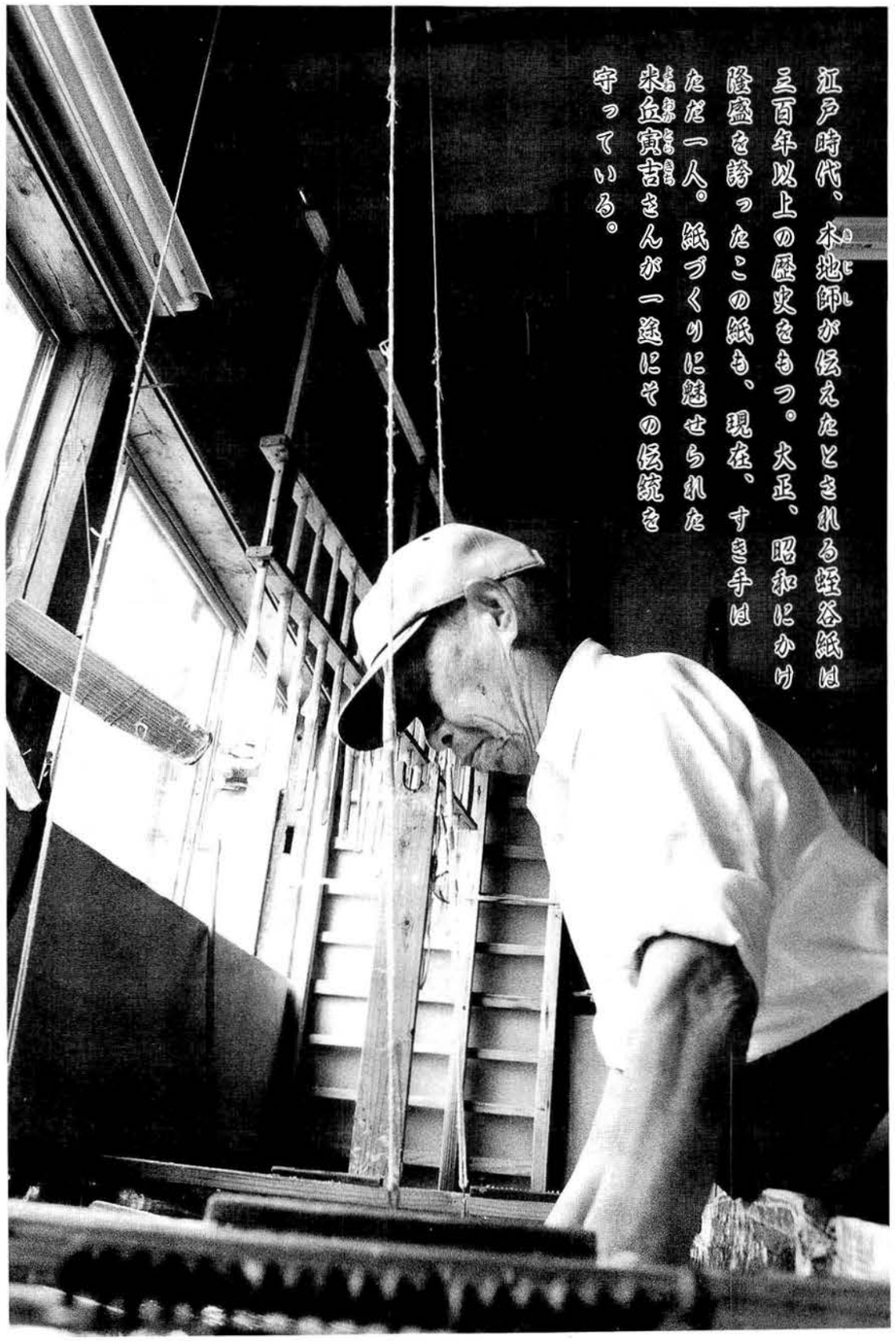
朝日町役場/〒939-07 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎ 0765-83-1100

新しい校舎

新しい友達

さみさと小学校が完成

広報あさひは資源保護のため再生紙を使用しています



「蛭谷紙」はいま——
手間のかかる工程 半永久的な生命
米丘寅吉さんが ひとり それを支える

←楮の白皮を水でさらす。今年の紙づくりは、秋のこの作業から始まった。

明かり窓に面した水槽の中に、きれいにむかれた楮の皮を浸し、「ザブザブ」と水にさらす音が作業場から聞こえてくる。

秋も深まり、かすかに冬の気配が蛭谷の集落に漂い始めた十月。米丘寅吉さん（七十五歳）は、一年半振りに紙づくりに取りかかった。紙づくりは、冷え込みの厳しい冬場にかけて最盛期を迎える。「体調さえ良ければ」という条件付きではあるが、米丘さんの紙と向かい合う日々は三月まで続く。

紙づくりは本来、紙の原料となる楮を畑から刈り出し（蛭谷では「楮刈り」という）、枝を払って一・二㍍ほどに切り束ね（「楮つだむ」）、大釜に入れて蒸し（「楮蒸し」）、皮をはぎ（「皮むき」）、さらにその皮の表面の黒皮を削り取る（「楮たくり」）ところから始まる。しかし昨年、体調をくずした米丘さんは、冬場にかけて行う予定だった紙づくりを断念。今年は、前年に準備・保存していた材料を用いるところから紙づくりを始めることにした。

ひとくちに「紙づくり」といっても、それは簡単なことではない。「楮たくり」が終わり、水と日光にさらし漂白された楮の皮（白皮）は、さらに「楮煮」、「あくぬき」、「ちりより」、「紙たたき」といった工程を経て、ようやく「紙すき」ができるまでになる。細かく解きほぐされた楮の繊維分に水と「ニレ」（黄蜀葵）と呼ばれる粘着剤を混ぜ、紙はすき上げられる。そして「紙しぼり」、「紙干し」が終わって初めて〝紙〟が誕生するのである。

蛭谷では古くからこうした紙づくりが行われ、「蛭谷紙」の名で広く町内外に知られ、使われてきた。しかし現在、この「蛭谷紙」をすく人は米丘さんただ一人だけ。後継者もいない。

「半永久的に持つ」とさえ言われる「蛭谷紙」は、どこから来て、そしてどこへ行くのか——。七十五歳の米丘さんは、自分の紙に誇りと自信を持っている。そして一人、静かな情熱でそれを支えている。

↑自宅から300㍍離れた山際にある楮畑。紙の材料には一年物が最適だという。

あくぬき

楮煮が終わると白皮を水槽に移しかえる。そして、ソーダ分や不純物を取り除くために何度も水を替えながら、手洗いする作業を繰り返し行う。

楮 煮

水でさらした楮の白皮は、大釜に沸かしたお湯の中に炭酸ソーダを加えて2時間余り煮る。約2時間ほど蒸すと皮がほぐれるほど柔らかくなる。

起源は江戸(元禄)時代

木地師が近江国から伝えた

だが、戦後まもなく紙づくりは途絶えた

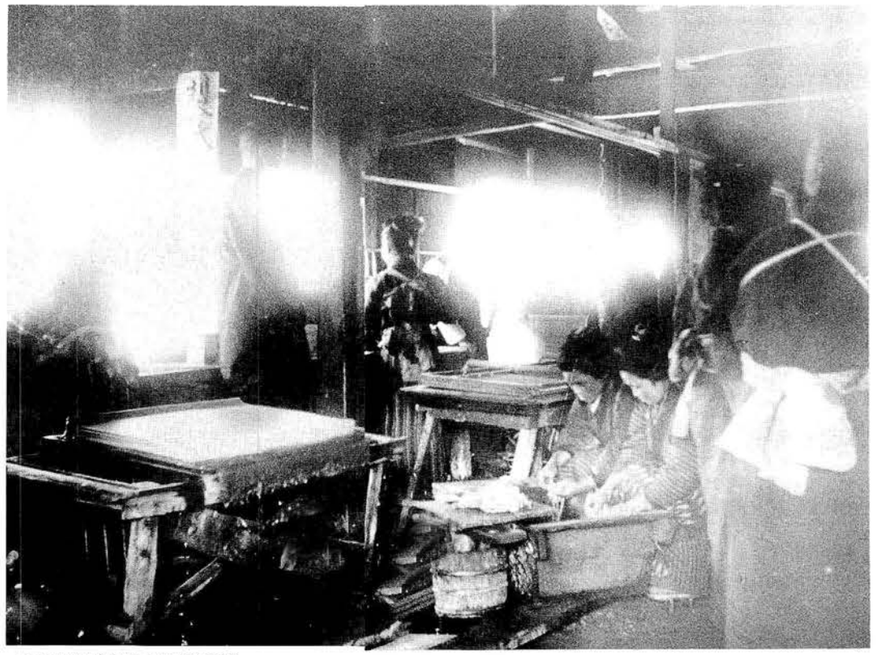
「蛭谷紙」の起源は明確ではないが、少なくとも今から三百年前の元禄七年（一六九四年）にまでさかのぼる古い歴史があるという。木地師と呼ばれる、ろくろを使って盆や椀などを作っていた人たちによって近江国（滋賀県）から伝えられたとされるが、大正から昭和初期にかけ「蛭谷紙」は、その全盛期を迎えた。

『当時、百三十軒余りの集落のほとんどの家に小型の紙すき道具がありました。ただ、本格的な設備をそろえていたのはそのうちの三分の一ほど。工程の分業化も進み、人々は大きな家の仕事場に集まって働くようになりました。昭和前期には八割以上の女性が紙づくりにかかわっていたと思います』と米丘さんは振り返る。

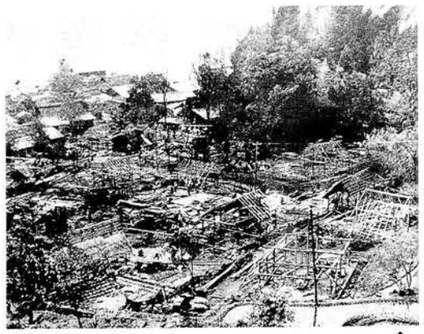
しかし、それも長くは続かなかった。やがて戦争が始まり、集落には男がいなくなった。そして敗戦――。ようやく戦後の混乱が治まり、人々の暮らしに落ち着きがみられるようになったころから、日本は高度成長期の時代に向かい始める。男たちは出稼ぎに、そして女たちは町工場の内職などに日銭を稼ぐようになっていった。かつて『富山市から東の障子紙のほとんどをまかなっていた』という「蛭谷紙」よりも安く、大量生産された紙が市場に出回り始めた。そして、蛭谷の紙づくりは急速に衰退していった。

『しかし』と米丘さんは言う。『紙づくりは、それほど辛い仕事だったのです。他に働き場のない時代、人々は生計を立てていくために紙をつくっていたのですよ。より有利な仕事で収入を得る道が開けたとき、人々が紙づくりをやめてしまったのは当然の成り行きだったのです…』

昭和三十年代前半、「蛭谷紙」はほぼ完全にその姿を消した。



↑大正時代の紙すき工場の様子。女性を中心に工程の分業化が進んでいたことがうかがえる。



↑昭和28年6月。蛭谷集落の4分の1を焼く大火が発生。幸い、紙の道具はあまり被害を受けなかったが…。

紙たたき

精選された楮の繊維分は、石うすの中で打たれる。かつては木づちを使い石の上で打っていたが、現在は機械打ちが行われている。

ちりより

あくぬきされた後、小さな水槽にかごを入れ、その中でさらに不純物を取り除く。蛭谷では「きずより」と呼ばれ、最も辛い作業の一つでもある。

←紙をすくふじさん。当時は、もっぱらふじさんが紙づくりの主役であった。

よみがえった「蛭谷紙」

米丘さん夫妻が紙づくりに取り組む

いつしか紙の魅力のとりこに

昭和四十年代前半。長崎助之丞さん（故人）の妻きくゑさんが、絵をかく夫のために紙をすくだけで、人々から忘れ去られていた「蛭谷紙」がよみがえった。

南保にある常泉寺の長等兼利住職の『伝統ある和紙をもう一度見直してごらん』という言葉に、米丘さんの妻ふじさんは紙づくりを始める決心をする。しかし、ふじさんも米丘さんもそれまで紙づくりには無縁だった。ふじさんは八尾の製紙指導所で紙を習い昭和四十四年、蛭谷で紙づくりに取りかかる。集落に残る昔のベテランにも誘いをかけたが、その辛さを知る人たちは『また、やってみよう』とは言わなかった。ふじさん、そして米丘さん二人の新たな紙づくりが始まった。

紙づくりは、何人かが工程を分担して行うのが通常である。ときどき手伝いに来てくれる人もいたが、夫妻は二人で力を合わせ十年間、紙をつくり続けた。しかし、である。昭和五十四年、ふじさんが病に倒れる。看病のかたわら、紙づくりは米丘さん一人の手に託されることになった。

『妻は再起の望みがない。一人で続ける自信もない。さりとて紙づくりの灯は消したくなかった。迷いと不安の中から私を引き上げてくれたのはほかでもない、紙の魅力、紙が好きだという気持ちでした』

今も米丘さんは一部の工程を除き手づくりを守っている。資金面もあるが、効率化の追求は紙の質を落とすことを知っているからだ。だが最小限の採算という支点の左右には、合理化と紙質維持という名の矛盾が常にある。

→昭和48年ごろ、自宅でバタバタ茶を立て、くつろぐ夫妻。ようやく二人の紙づくりも軌道にのりかけていた。

ニレたたき

ところどころあおい（蛭谷では「ニレ」という）の根を木づちでつぶす。

ニレは、紙すきの際に繊維分が水中で固まらず、そして1枚1枚の紙を後にはがしやすくする働きがある。

ニレこし

つぶしたニレを容器に入れて水を加えると粘液が出てくる。不純物を除くため、この粘液をザルでこし、さらに布の袋に通し、紙をすく際に原料と混合する。

変わってきた価値観

実用的な紙から手に入りにくい紙に

紙づくりを通し 人々に夢と感謝を

←見学に来た朝日中学校の生徒に紙づくりの工程を説明する。紙がどのようにできるかを知らない生徒がほとんどだ。

➡数年前から南保小学校の6年生は、米丘さんの指導を受け、自分たちの卒業証書を自分たちの手ですいている。

➡長崎助乙巡作「朝日岳」。長崎氏以外にも蛭谷紙を愛する芸術家は今も数多くいる。

『今は科学の時代だ。私のような年寄りがなぜ、こんなことをしているのかと君たちは思うかもしれないけれども、知ってほしい。仕事というものは本来、おもしろいものなんだ。たとえ、もうからなくても楽しいものなんだ。将来、君たちは現代科学の先端で、さまざまな仕事につくだろう。けれども手づくりのよさ、人間のすばらしさということを忘れてほしくはないんだ』

←町主催の「金婚を祝う感謝の集い」。金婚を迎えた夫婦に贈られる祝い状にも蛭谷紙が使われている。

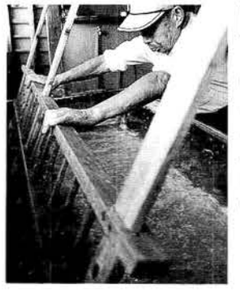
見学に来た中学生に紙づくりの説明をした後、決まって米丘さんは、そんな話をする。七十五歳とは思えない張りのある声、そして熱い語り口に生徒たちの顔も真剣になる。

また、数年前から地元の南保小学校の六年生は、自分たちの卒業証書を米丘さんの下で実際にすいて作っている。世界に一枚だけしかない、自分が手づくりした卒業証書。『できあがったときの子供たちは、信じられないといった顔をしますよ』と米丘さんはほほえむ。次代を担う子供たちへの米丘さんのささやかなプレゼントだ。

町では平成二年度から、金婚式を迎える夫婦を招く「金婚を祝う感謝の集い」を毎年開いている。この席で手渡す祝い状にも「蛭谷紙」が使われている。伝統の和紙が半世紀を共に歩んできた夫妻をたたえる。

かつては障子紙に代表される、日常的、実用的な紙だった「蛭谷紙」も最近では、生産量の少なさ、手づくりのブームにのってか、版画や書、ちぎり絵などに使われることが多くなっている。『蛭谷紙』に関する資料が集落に残っていないのは、昔は古くなった帳面や書物なども再び溶かし、紙にすいたからです。それを思うと「蛭谷紙」も変わったものだと感じますね』と米丘さん。

だが、米丘さんは高級紙をつくっているつもりはない。あくまで手づくりの実用的な「蛭谷紙」にこだわっているだけである。



撹拌(かくはん)

すき舟と呼ばれる槽の中に楮繊維と水、そしてニレを入れ混ぜる。そのときに使われる竹製の道具をザブリという。ザブリを使った後、さらに竹の棒で混ぜ合わせる。

紙すき

材料の混合が終わるとようやく紙すきに移る。簀(す)と呼ばれる竹製のスダレのようなものを桁(けた)という木のわくにはさみ、すき舟の中に入れて紙をすく。

追いこまれた「蛭谷紙」

後継者不在に悩む伝統工芸士

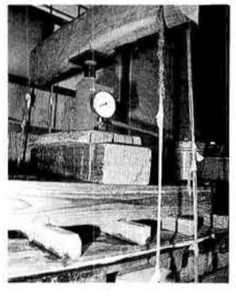
紙のすべてを 残し伝えたい

米丘さんは、日に百枚から百五十枚の紙をすく。これは決して多い数ではない。一人でやっているからには、そんなにもうかりもしない。けれども、紙づくりをやめようとは思わない。一番の夢は、後継者が現れてくれることだ。『これまで二人ほど来るには来たのですが…』。半端な気構えでは「蛭谷紙」を受け継いでいくことは容易でない。

富山県で和紙をつくっているのは八尾、五箇山、そしてここ蛭谷だけだ。今年、これら「越中和紙」を守り伝える人のうち六人が通商産業大臣から「伝統工芸士」の認定を受けた。米丘さんもその一人だ。『私のような経験の浅い人間が伝統工芸士として認められたこと自体、おそれ多いこと。これは蛭谷の先人たちと妻のふじ、そして「蛭谷紙」そのものが認められたのですよ。私一人が受けるには重すぎます』

米丘さんは決して若くはない。『あと何年、紙づくりができるか…』と気弱になることもある。後継者が見つかれば、自分の持つすべての技術、そして設備も渡すつもりでいる。それが米丘さんの最大の願いだ。

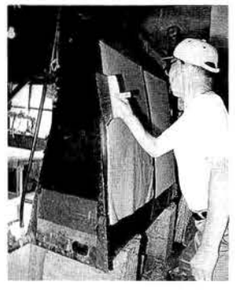
『たしかに「蛭谷紙」に伝統、手づくりという美化されすぎたイメージを抱く人も多いようです。しかし、紙そのものに魂をささげるような人間もきっといると思うんですよ』。米丘さんは、静かにそう結んだ。



紙しぼり

すき上げられた紙は、圧搾機(あっさくき)によって水分がしぼられる。

米丘さんはジャッキを使ってこの作業を行う。ほぼ一昼夜で乾燥に適した湿り具合となる。



紙干し

中にお湯の入った乾燥機の表面に、紙しぼりが終わった紙をハケでのばしながら1枚ずつはりつけていく。2、3分で乾き、蛭谷紙が出来上がる。

参考資料

「朝日町誌」「朝日町の自然と文化」「朝日町の歴史」「写真で見る朝日町のうつりかわり」「ぱなとりる」

※取材協力　米丘寅吉・ふじさんご夫妻

カメラルポ

卒業写真を見て。「あっ、この男の子覚えているわ」

「懐かしいわ！先生、昔とお変わりないですね」

「私も君たちの先輩になるんだよ」

よみがえる記憶 もう一つの故郷
50年の昔に再会
集団疎開の元児童23人が懐かしの地を訪問

昭和十九年、私は大田区の国民学校の五年生でした。八月二十六日、五年生の男女八十四人は、やさしい父母のもとを離れ、遠く富山の大家庄という所に集団疎開しました。夜の十一時過ぎ、雨のしょぼしょぼ降る中を見送る父母たちの何人かの涙を不思議な気持ちで受け止めながら、私たち子供は遠足にでも行くように、はしゃぎ出発したのです。――

戦時中、朝日町大家庄に学童集団疎開していた東京都大田区の西六郷国民学校（当時）の元児童らが九月二十七日、受け入れ先だった寺院や大家庄小学校を訪問、半世紀前の思い出に浸りました。

一行は、昭和十九年八月から翌二十年十月まで疎開生活を体験。男女各四十二人が、男子は西心寺、女子は光栄寺に宿泊し大家庄小学校へ通いました。

今回、訪れたのは引率教諭だった真鍋尚行さん(七八)や、学童だった佐藤好晴さん(六二)ら二十三人。当時、世話になった先々代住職の妻、多満喜さんのお墓参りと、疎開後五十年を記念しての訪問となりました。

二十七日午後、光栄寺に到着した皆さんは、多満喜さんの墓前に手を合わせた後、井口栄樹住職らと歓談。その後訪れた大家庄小学校では、記念撮影や紅白のハナミズキの植樹をするなど、遠く、しかし決して忘れられない五十年の昔に思いをはせていました。

児童たちが寝泊まりしていた西心寺（上）と光栄寺（下）

今も変わらぬ思い出の校舎をバックに全員で記念撮影。

その年の冬は大雪で、お寺の屋根から下ろした雪で本堂の窓もかくれてしまいました。学校も吹雪で休校の日が多く、窓をかくす白い雪を明かりの代わりに勉強したりしました。――八月十五日、思いもかけぬ終戦。日本は絶対負けないと信じ、子供でも「お国のため」、「欲しがりません勝つまでは」と辛いことも悲しいこともじっと我慢して耐えてきたのに、何かポッカリ穴があいたような気分で不安な日々でした。（「平和の祈り」から抜すい）

↑光栄寺での記念写真。昭和20年は豪雪で、「雪の日は寒さに震えながら、先生を先頭に学校までの500メートルを通ったことを思い出します」という人も。

←児童たちが母のように慕っていた多満喜さんは今年5月に他界。「もう一度、お会いしたかった」と墓前で合掌。

↓子供たちも2階から見守る中、校舎前の花壇に紅白のハナミズキを記念植樹。

当時、男子が学んでいた教室で。「私もここの卒業生。皆さんが来られた日のことを覚えています」と川上美知子校長。

ズームアップ

ファイトかきたてる

さまざまなスポーツに挑戦 **高橋光男**さん（58歳・平柳）

「二十三歳のときに松葉づえをついて立山登山に挑戦。富士山、白馬岳、剣岳と登る間に他のスポーツにも手を出すようになりました。『やればできるんだ』ということを自分の体で証明したかったんですね」

登山をはじめ、ボウリング、砲丸投げ、水泳、スキー、そして車いすマラソンなどなど――。体のハンデをものともせず、今もさまざまなスポーツに挑み、それを楽しんでいる高橋さん。今年三月の全国身体障害者スキー大会では初めてクロスカントリーにも出場。大回転と合わせ二つの銀メダルを獲得しました。

東京に住んでいた六歳のとき、突然動き出した貨車にひかれ、右足を失った高橋さん。「学校の体育の授業は、いつも見学だった」と振り返りますが、持ち前のファイトと努力でやがて洋服仕立職人として一本立ち。そして自身への新たな挑戦をスポーツの中に見いだしていきました。

「テレビや雑誌で身障者の人たちの活躍を見ると『もっと、がんばらねば』と思う」と話す高橋さん。去る十月十三日には県の社会福祉大会の席上、他の身障者の模範となった として県知事から厚生功労表彰を受賞しました。

「今の私があるのは、妻をはじめ職場の方々の理解と協力があったからこそ。今後も常にファイトをかきたてていきたい」と熱く語ります。

元気印

住吉祐馬（すみよしゆうま）くん

金山の住吉透・直美さん夫妻の2男（平成5年3月8日生）

うちの

坂東彩子（ばんどうあやこ）ちゃん

西町の坂東純一・弘子さん夫妻の長女（平成5年4月14日生）

金婚カップル50

六一さん(77)
吉田香須子さん(71)
窪田

――結婚されたのは？

六一　昭和二十年の二月。とはいっても私は当時、横須賀の旧海軍対潜学校の教師をしており、妻の顔を知らないばかりか、郷里での結婚式にさえ出ていないんですよ。

香須子　夫不在の結婚式を済ませ、まだ見ぬ夫のいる横須賀へ向かいましたが、途中、鎌倉で空襲にあい、命からがら夫の元にたどり着いたことが強く印象に残っていますね。

――五十年間の思い出は？

六一　終戦、そして復員。軍隊教育の電子技術を生かし、ラジオ修理、有線放送電話関係の会社を経営。無我夢中で時代を駆けているうちに、あっという間に五十年経ったというのが実感です。

香須子　戦争に敗れるとは思ってもいなかっただけに、郷里に帰ってからは慣れない農作業などに大変苦労しましたね。

――お二人の今後の夢は？

六一　『人生八十、九十が現役だ』が信条。死線をかいくぐってきたことを思うと、今後も元気で世のため、人のために役に立ちたいと日々、念じています。

香須子　二人で農業をしながら元気で過ごすこと。ゲートボールなども楽しみたいですね。

なかまたち

南保地区婦人会

心身共にリフレッシュ

皆さん、こんにちは！　私たち南保地区婦人会は写真を見てもお分かりのとおり、長崎会長を中心に、まだ初々しい可憐(？)な主婦から経験豊かな熟年主婦までの総勢240名の会員で成り立っています。

婦人会離れがささやかれる中、女性がいる家庭では一軒に一人は会員がいる「アッと驚く皆会員」という、地区でも貴重な団体です。だからこそ1に仲良く和気あいあいと、2に楽しく朗らかに、3に自分のためになって、それでもって4に人様のためにもなる。そんな魅力のある、みんなが参加したくなる活動を目指しています。互いに勤めを持つ身なので『会合に必ず出んなん！』という堅いことは言いっこなしの自然体で、みんなで活動を盛り上げています。

職場の付き合いだけでは寂しい人生…。南保のカアちゃんとしての素顔を大切に、婦人会を通して横のつながりをより広げていけたらと願っています。今年度は立山町での社会見学やバタバタ茶・山菜料理教室から、成人病について学ぶ会、ビーチボールを楽しむ会、コーラスで心満たす会、そしてボランティア活動など、バラエティに富んだ活動を行っています。

『心身共にリフレッシュ』を合い言葉に11月12日、サンリーナで第5回南保地区婦人ビーチボール大会を開きます。あなたもいっしょにどうけ？いっしょにやろうよネ。

すみれさん

平岡愛子さん(20歳・魚津市)
――洗足学園魚津短期大学――

朝日町に親近感

八月に行われた「ミスあさひ・ヒスイコンテスト」でミスヒスイに選ばれました。町の代表として一年間、多くの方々に朝日町の魅力をPRしていきたいと思っています。

出身は福井県の鯖江市ですが、現在は魚津市から短大へ通学、音楽科で打楽器を専攻しています。鯖江市はメガネや漆器で名を知られていますが、隣の町が福井県朝日町ということもあって、何となく富山県朝日町には親しみを感じています。

趣味はドライブやカラオケ、音楽鑑賞など。機会があれば多くの皆さんの前で演奏してみたいという夢も持っています。

結婚はまだ先の話。理想のタイプは、やさしくて、いっしょにいて落ち着ける人です。

広報係では「ふれ愛こうさ点」の各コーナーに出ていただける人やグループを募集しています。「出てみたい」「出してあげたい」人がおられれば、広報係（☎役場内線204）へご一報を。

みんなの11月 NOVEMBER ページ

投稿者の皆さんへ

ハガキには住所、氏名、年齢を明記するとともに、匿名希望の場合は、その旨をはっきり書いて送ってください。

▲カシマアントラーズ(10)

▲YAKUBA(17)

▲匿名某子(?)

▲蔵悪涙(14)

▲M某(?)

▲呼夏(17)

▲木曽舞志路右近(16)

▲つばめ七連(?)

▲崎砂羅(?)

▲サイパパ(?)

▲マハラジャ(20)

▲ねこの&チョコボンボン(14)

▲松本人志(18)

▲雪(15)

こどもたちのおもねつぶやき

大きなカボチャがとれたよ(大家庄保育所)

【台風一家】(5歳児)

(台風26号のニュースをきいて)

Gくん「台風一家って言うとったろう。台風って、でっかいとやっそ」

Kくん「うん、そうやよ。東京にも行かんなんし、僕ちにも来んなんし。いっぱいおらんとだめやもんにー」

(台風一過を、お父さんやお母さん、赤ちゃんなどがいる台風の一家と思ったのでしょう)

【カラちゃんは?】(2歳~5歳児)

(ヒナのころからいっしょに遊んできたカラスのカラちゃんが蒸発? 今でも子供たちはときどき思い出します)

Rくん「カラちゃんは? カラちゃんは…?)

Kくん「友達できたんや」

Tちゃん「友達つくって結婚したんじゃない? 奥さんが『帰られん』って言うから帰ってこられんがや」

Nくん「彼女できたんや。そやわ、そやわ」

保母「遠くへ飛んでいって帰って来られんがになったか、だれかにつかまったのかもしれんね」

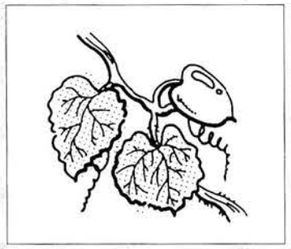
(カラちゃん!どうしているんですか?)

【花の海水浴】(4歳児)

(ボールに水を入れて花を浮かべながら)

Yちゃん「花さんも泳いでいるみたい。海だ。海だって泳いでいる」

町長のひとりごと



"生涯学習"という言葉をよく見たり聞いたりしますが、皆さんは何かしておられますか？私自身、これといった学習はしていないものの、英会話ができれば便利だなと思うことがよくあります。案外、『あのとき、やっておけばよかった』と感じたときにこそ、あらためて挑戦してみることが大切なのかもしれません。

10月6日から今日まで、第6回全国生涯学習フェスティバル"まなびピアとやま'94"が開かれています。見て、触れて、楽しむ。趣味を通し、また新たなことにチャレンジするのも生涯学習であると思います。

昨日、そして今日と、各地区の敬老会に出席。多くの元気な方々にお会いしてきましたが、余興を披露された皆さんのすばらしい芸にも感服。練習に練習を重ねてこられた成果に拍手を送るとともに、"生涯学習"という言葉をあらためて思いおこした連休でもありました。

さて、いよいよ秋も深まりを見せてきました。町では先月から各町内で説明会を開き、ごみ減量、再資源化への皆さんのご協力を求めていますが、今から50年前の昭和19年は戦争中に加え、大凶作だったとか。物がなく、その日の生活にも困っていたころを知っている人に、今日の物あまり時代はどのように映っているのでしょうか。

(10月10日記)

▲PMII:00(?)

▲Dr. T(15)

▲ピーターラビット(14)

▲チョコボンボン(14)

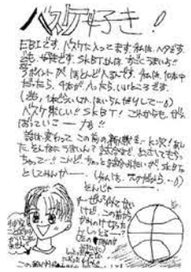
▲WATARU(15)

▲天才(12)

▲フー太(14)

▲パイン&アップル(16)

▲BRONZE(14)



▲EBI(13)

▲YUME(14)

▲桜木花道(16)

係・か・ら…

「みんなのページ」は、皆さんでつくっていただくコーナーです。漫画やイラストに限らず、日ごろ感じていることや広く知らせたいこと、広報で取り上げてほしい問題など、皆さんからの声をお待ちしています。

▲ねこの聖(14)

▲巫(17)

広報クイズ ⑨⓪

(問題)

①蛭谷和紙の材料は？
Ⓐ竹 Ⓑ楮 Ⓒ杉

②「さみさと小学校」の入校式があったのは9月の何日？
Ⓐ1日 Ⓑ15日 Ⓒ30日

③町の海外派遣交流事業「新世紀の翼」の今年の訪問国は？
Ⓐ中国 Ⓑ韓国 Ⓒフィリピン

(応募方法)

☆はがきに答えの記号、住所、氏名、年齢を書いて11月15日(当日消印有効)まで役場総務課秘書広報係(〒939―07朝日町道下1133)へ送ってください。抽選で3人に図書券をプレゼントします。前回の当選者は、マハラジャさん、ねこの聖さん、チョコボンボンさんに決まりました。

ふるさとみらい21 朝日

町制施行40周年記念

宿場時代絵巻

道中大行列

11月3日(木)
「文化の日」

13:00 福祉センター出発
(上町～神田町)

江戸時代にタイムスリップ

江戸時代の宿場の往来を再現し、大行列が泊市街をパレードします。皆さんの身近な人や思いがけない人が、その中にもいるはず。また、七五三の親子も参加しています。

道中には3軒の茶店が設けられ、そば、だんご、ぜんざいなどが無料でふるまわれます。ただし、行列が通過した後は店じまいされますから、くれぐれも食べ損なわないようにご注意！早めに行って行列を待ちましょう。

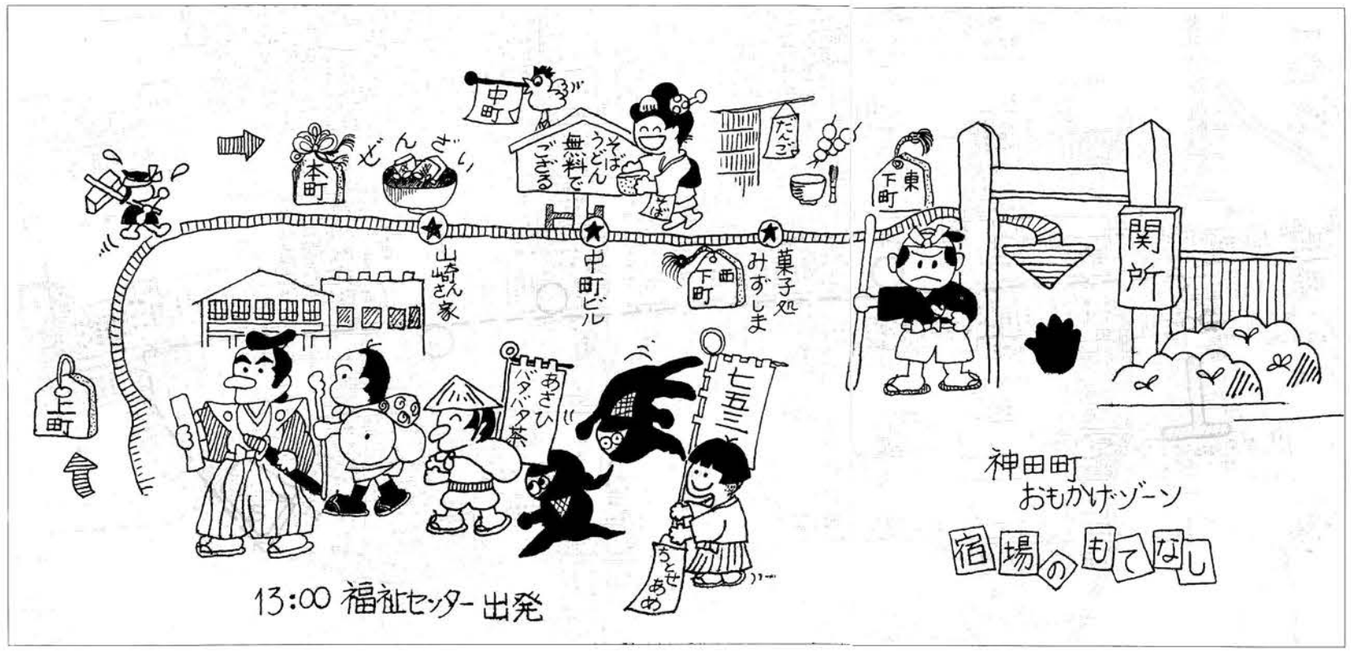
当日は、行列到着地点の神田町おもかげゾーンで「宿場のもてなし」と題したパフォーマンスや、泊芸妓の皆さんのあでやかな手踊りも披露されることになっています。

「宿場のもてなし」には、だれでも自由に参加することができます。心ゆくまで江戸情緒を満喫ください。

お・ね・が・い

当日は行列が通過するまでの間、道路は車両通行止めとさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

なお、雨天の場合の会場は、福祉センターとなります。



町制施行
40周年記念
見て、聴いて、食べて、飲んで、買って 楽しい！

朝日町産業フェア

農・林・漁・商・工業が一堂に！

とき 11月13日(日) 10:00～16:00

ところ 町道泊桜町線(北銀交差点～さみさと小学校交差点及びその周辺)

スポーツSPORTS

全日本ジュニア陸上競技選手権大会(9/24～9/25名古屋市)
(出場者)大島有紀子
北信越新人ソフトボール大会(9/25小矢部市)
▼一般男子2位エクスプレス
柔道全日本ジュニア選手権県予選(9/15県営富山武道館)
▼65kg級1位岡本慎也 ▼71kg級1位安達春樹
県クラブ対抗陸上競技大会(9/17～9/18県陸上競技場)
▼男子の部 ・棒高跳1位宇田康隆 ・三段跳2位田畑力也 ・砲丸投2位宇田浩記
県高校陸上競技新人対抗選手権大会(10/1～10/2小矢部陸上競技場)
▼男子の部 ・110MH1位角丸映至 ・400MH1位広田直人 3位角丸映至 ・三段跳2位蓬沢明人 ・やり投2位松本隆寿 ・棒高跳3位宇田康隆 ・砲丸投3位角丸拓郎 ▼女子の部 ・やり投2位霜越志保
県クラブ女子ソフトボール大会(10/9県営新港陸上競技場)
2位レモンズ
四市三郡対抗陸上競技大会(9/25魚津市桃山陸上競技場)
▼男子の部 ・100M2位蓬沢太士 ・1500M1位安達忠行 ・走幅跳1位田畑力也 2位蓬沢明人 ・三段跳1位田畑力也 ・砲丸投1位宇田浩記 2位角丸拓郎 ・やり投1位水野真也 ▼女子の部 ・走幅跳2位矢木暁美 ・円盤投1位霜越志保 ・やり投1位霜越志保
新川地区中学校新人大会(9/17、10/1、10/2魚津市他※1位のみ掲載)
▼団体の部 ・バレーボール男子 ・卓球女子 ・柔道 ・陸上(以上朝日中)
▼個人の部 ・柔道男子48kg級清水宏貴 78kg級南茂勇気・78kg超級狩谷勝徳 ・柔道女子48kg級寺田桃子 56kg級初田恵美子 ・陸上男子110MH本田直希 棒高跳宝田和久 走高跳末上義弘 ・陸上女子200M笹川泉 800M笹川泉 110MH清水麻珠 走幅跳臼本瞳 400MR稲荷、佐々木、臼本、笹川組
三市一郡バドミントン大会(9/18サンリーナ)
▼個人成年女子1位高木・水嶋組 2位柚木・藤田組
協会創立十周年記念ゲートボール大会(10/7海浜公園)
1位泊二区A 2位宮崎B

平成6年度富山県スポーツ奨励賞受賞者

◎のびのび賞 栗田健司 高櫻真人 秋山高識 赤川玄次 竹内秀一 山本浩司
◎はつらつ賞 勝田稔
◎さわやか賞 工藤実、深松隆、九野木千津子
◎ほのぼの賞 下澤良雄、森木庄一、野村はり
◎生涯スポーツ賞 大菅千之

11月のスポーツ SPORTS

- 町民夜間バレーボール大会
  1日(火)～16日(水)19:30～
  (文化体育センター)
- 夜なべビーチボール大会
  5日(土)・6日(日)(文化体育センター)
- 町民駅伝競走大会
  13日(日)10:00～ (町内駅伝コース)
- 町民夜間バドミントン大会
  14日(月)・21日(月)19:30～
  (文化体育センター)
- 児童クラブビーチボール大会
  20日(日)9:00～(文化体育センター)
- バスケットボールクラブ選手権大会
  23日(水)9:00～(文化体育センター)

医療の現場から

あさひ総合病院内科
村上純医師

たばこの害について

たばこは現在急増している肺癌のほか喉や舌、食道、他の多くの癌や慢性気管支炎、肺気腫などの呼吸器疾患、心筋梗塞や突然死、大動脈瘤、脳卒中などの動脈硬化に関連した重大な病気の最大の原因の一つです。また胃潰瘍を悪化させます。さらに喫煙は本人のみならず周囲の人の健康をも害するため、禁煙は社会的にも広く求められています。しかし健康に良くないとわかっていてもやめられない人が多く、喫煙者の60%が禁煙を試みていますが、禁煙できた人は11%といわれています。

最近では禁煙を助ける薬がガムの形で実用化されました。たばこの成分の一つのニコチンを含んだガムて、禁煙の際の禁断症状を抑える効果があります。医療機関のみて処方されています。これまて禁煙してみたが志半ばにして続かなかった方は試みられてはいかがでしょう。

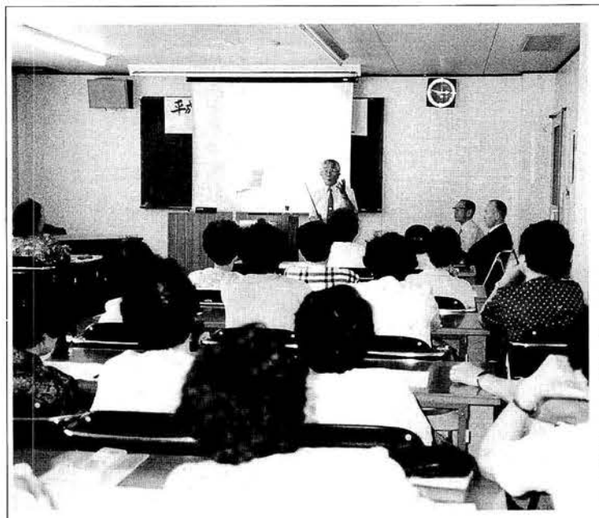
以下の人は"たばこ依存症"が疑われ要注意です。
1)朝起きてから30分以内にたばこを吸う。2)禁煙席にいると非常に苦痛。3)朝の一服が一番うまい。4)1日20本以上吸う。5)午前中に吸うことが多い。6)体調が悪く寝ているときもたばこを吸う。7)強いたばこが好きである。8)煙を深く吸うことが多い。心当たりはありませんか？

ふくしの窓

社会福祉協議会だより

◆ 朝日町社会福祉協議会は、皆さんと共に地域の福祉向上を目指す福祉団体です。

・場所　朝日町福祉センター内
☎83－0576



ハートぽかぽか

できることから始めてみませんか
——ボランティア養成講座——

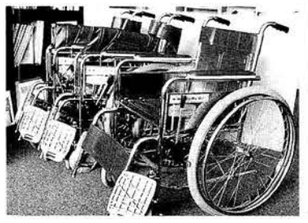
朝日町ボランティアセンターが9月9日、福祉センターでボランティア養成講座を開きました。

講座には、日ごろから地域でさまざまな活動をしている皆さん約40人が参加。具体的な事例に基づき、ボランティアの基礎や実務を熱心に学びました。

心と心をつなぐボランティアの輪が、今回の講座でより大きくなったようです。

車いすをプレゼント

富山第一銀行から10月7日、創立50周年記念の一環として、社会福祉協議会へ3台、特別養護老人ホーム「有磯苑」に2台の車いすが贈られました。



福祉豆事典⑧

ボランティア活動

だれもが人間らしく豊かに暮らせる社会を目指し、各自が身近なところでできることを考え、自発的に行動することを指します。

平成5年度の朝日町ボランティアセンターの相談件数は112件、活動件数は355件にもなりました。

現在、18団体と個人の合わせて446名が町のボランティアセンターに登録されており、町民の幸せのための活動をしています。

賛助会員加入状況

ただいま募集中の町社協の賛助会員に次の方々から加入申し込みがありました。

（泊一区） 水島幹夫、岡洋一、岡愉紀子、青木保、手塚幸雄、福地俊雄、野間芳春、魚住昇、魚住みさえ、野村一康、尾山勇、尾山三四九、尾山義憲、寺崎松義、寺崎キヌ、山口孝治、湯島與四松、水島秀雄、水島忠治、水島きよ、青木清一、田中博、田中文枝、入江清、入江キヨエ、氷見光久、氷見アイ、谷口道子、田中文平、田中喜美子、青木千代子、梅沢伸一、川上彰、川上英子

（泊二区） 松原修一、松原年子、尾崎悟、尾崎真理、尾崎務、尾崎とみ子、大井久和、高桜幸子、高桜龍一、高桜美根子、松田真須子、草野富久子、尾崎豊吉、尾崎すみ、尾崎三郎、尾崎美津恵、大平富志男、大平志津子、中村孝三、中村ナツ子、赤川啓子、赤川笑子、大平正、草野弘、草野悦子、梶川常三、大和芳雄、土井嘉夫、草野時盛、草野昭二、大平久喜、若林進、工藤順一、大平半次、山崎義時、波間作松、波間とき子、前川ミチ子、伊藤京子、星野逸枝、山崎龍太郎、岡本鉄松、岡本ヒサ、小松行雄、寺崎清、寺崎としえ、大谷俊夫、大谷睦子

（泊三区） 岩田嘉信、沢崎久美、竹中幸三、越間正次、藤田勝二、越沢希彦、岩田和雄、沢本哀八、越沢登哀雄、山本明、小松芳種、椿石松、河村久人、中島弘、越間晋二、大平勉、黒坂三一、篠田フサ、中村義一、吉田信幸、瀬沼忠男、谷口健一、高橋清、永井正佳、岡安太郎、折谷洋一、平崎やへ、中陣幸恵、岡島明、竹中昇、森松寿、岩村鴻八郎、南保明保、室辰男、内山香司、井上恒好、竹中猛、末上多津子、竹中千虎、長津哀代二、平沢俊和、川谷進、後藤ムツ子、折谷武彦、真部繁松、越沢スミ子、伊藤幸男、丸川病院、坂東病院、進化堂、大和一雄、滝本敦子、片山旨夫、九里立身、道用工業、七沢仏壇、朝日石油、サンロード、岩田誠、柳下忠雄、長井保男、大平初治、柳下重次、河端勇吉、荒尾与三、野島武吉、小谷輝義、霜越重栄、森田勝己、由井一男、竹中寛　以上190口
（8月10日現在）

ありがとうあたたかい志

朝日町善意銀行
（9月11日～10月10日）

♡三枚橋　広田幸春さんから亡母あやさんが生前お世話になったお礼として　3万円

♡朝日町連合婦人会さん、女性プラン推進員朝日町連絡会さんからあさひまつり遊休品の店収益金の一部として、それぞれ2万円、1万円

♡上町　とく名さんから1円
玉硬貨　785円

♡幸町　とく名さんから　3万円

お知らせ

くらしの情報室
Living Information
朝日町役場 ☎83-1100

11月 NOVEMBER

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

募集

■指定ごみ袋取扱業者

新川広域圏事務組合は来年の4月1日から、資源ごみの回収（スチール缶、空きビン）と併せてごみ袋の指定制を実施する予定ですが、その指定ごみ袋の取扱希望業者等を次のとおり募集します。

ごみ袋の取扱業者　①製造業者　②卸し業者　③小売業者のうちのいずれか。

資格　魚津市、黒部市、宇奈月町、入善町及び朝日町に所在する業者。

申込み方法　新川広域圏事務組合または朝日町役場住民課で交付する申込書に必要事項を記入し、広域圏事務組合または役場住民課へ提出してください。

申込み期限　11月30日㈬

問合せ　申込書の請求や詳しいことについては、新川広域圏事務組合（☎23＝1024）または役場住民課環境保健係（☎内線113）へ問い合わせを。

■盲人ガイドヘルパー

視覚障害者が外出するとき介助していただく「盲人ガイドヘルパー」（ボランティア）を募集します。

申込み・問合せは役場住民課福祉係（☎内線116）へ。

■富山県技術専門学院学生

募集科名　メカトロニクス科、自動車整備科、オフィスオートメーション科、情報システム科（各科とも定員20名、期間は2年）

願書締切り　11月11日㈮

入学選考日　11月22日㈫

応募資格　平成7年3月高校卒業見込み者または、これと同等以上の学力を有すると認められる人

問合せ　富山県技術専門学院（富山市向新庄327☎0764＝51＝8802）へ。

催し

■中央公民館版画教室

日時　11月10日から12月1日までの毎週木曜日（午後7時30分から9時まで）の4回コース

場所　朝日町福祉センター

講師　殿村芳謙、越間松子、七沢麗子の各氏

申込み・問合せ　教育委員会（☎役場内線305）へ。

■青年海外協力隊募集説明会

日時　11月11日㈮・24日㈭（ともに午後6時30分から）

場所　富山県民会館601号室

問合せ　県庁国際課（☎0764＝31＝4111）へ。

ホット求人情報

平成6年11月分

整理番号	求人職種	年齢	賃金 円	性別	就業場所 休日	採用人数	資格経験免許等
1	営業員	35才～45才	240,000～350,000	男	朝日町棚山 4週5休	1	事務及び営業管理経験者が望ましい
2	機械工	18才～40才	143,000～250,000	男	朝日町月山 日祝他	2	見習い可
3	自動機操作	18才～35才	137,500～222,500	男	朝日町道下 日土祝（完全週休2日制）	6	不問
4	土木技術者	18才～35才	165,000～265,000	男	朝日町沼保 日祝、隔週土曜日	2	不問
5	事務員	18才～60才	120,000～140,000	女	朝日町宮崎 日祝	1	普通自動車免許
6	検査工	18才～40才	130,000	女	朝日町大家庄 日祝、第1・2・3土曜日	2	不問
7	裁断助手	18才～50才	125,000～150,000	女	朝日町大家庄 日祝他	2	不問
8	雑務	18才～70才	120,000～150,000	女	朝日町地内 日、第1・2土曜日	3	不問
9	製造	20才～50才	120,000	女	朝日町境 日祝他	2	普通自動車免許
10	鉄工及び雑役	40才～55才	170,000～200,000	男女	朝日町草野 日	2	溶接経験者

☆「求人情報一覧表」もご利用下さい。（商工観光課カウンターに展示）
☆くわしいことは、魚津公共職業安定所朝日分室 ☎82-0198へお問い合わせください。

年金だより

こんなとき種別の変更・確認の届出が必要です。

■スポーツ教室

種目 サロンサッカー
日時 11月10日から12月8日までの毎週木曜日（午後5時から6時30分まで）の5回コース
場所 朝日町文化体育センター（サンリーナ）
対象者 小学生
参加料 1000円（保険）
申込み 11月9日㈬まで、朝日町文化体育センターに備え付けの用紙（電話でも可）で同センター（☎83＝1838）へ申し込みを。

■フレッシュテニス教室

日時 11月16日から毎週水・金曜日（午後7時30分から9時までの10回コース
場所 朝日町文化体育センター（サンリーナ）
対象者 町在住及び勤務者
講師 朝日町体育指導委員
参加料 無料
申込み 11月11日㈮まで教育委員会（☎役場内線305）へ。

■町児童クラブビーチボール大会

日時 11月20日㈰午前8時30分から
場所 朝日町文化体育センター（サンリーナ）
対象者 町児童クラブ加盟の小学4年生以上
参加費 無料
申込み 11月8日㈫まで教育委員会（☎役場内線305）へ。

お知らせ

■年末調整説明会

魚津税務署では、今年も次のとおり年末調整および特別減税の説明会を開きます。当日は関係書類を配布しますから、関係者は必ず出席してください。
日時 11月17日㈭午前9時30分から
場所 役場4階大ホール

■がん検診

期日 11月20日㈰
場所 朝日町文化体育センター（サンリーナ）
検診項目・受付時間 ・胃がん…午前8時30分から9時30分まで ・子宮がん、乳がん…午前9時から9時45分まで ・大腸がん（便検査。希望者に容器を渡します）
料金 各検診とも500円（ただし、今年度中に40、50、60歳になる人、70歳以上の人、子宮・乳房は30歳になる人も無料）
申込み 11月11日㈮まで保健センター（☎83＝3309）へ。

ファーストバンク泊クラブ文化講演

女流講釈師 神田紅（かんだこうれん）氏

当代一流の講談をお楽しみください。
■11月11日㈮ 午後7時～
■コミュニティホール「アゼリア」
入場無料 多数のご来場を

男性料理教室

○日時／11月26日㈯ 午後1時30分から
○場所／朝日町保健センター
○参加費／無料 ○定員／先着20名
○申込み／11月18日㈮までに女性プラン推進員代表 広田みな（☎83－2235）または教育委員会（☎82－1104）へ。

町の工事発注状況（500万円以上）

―このコーナーは町が入札を行ったものを掲載しています―
〈H6.9.1～9.30〉

工事名	施工地	完成予定	請負金額	業者	担当課
無雪害街づくり事業 町道横尾元屋敷線消雪工事	横尾	6年11月	25,853,000円	株式会社氷見工業所	建設課
無雪害街づくり事業 町道上町橋向町線消雪水源その2工事他	荒川	6年11月	14,193,400	株式会社道川工業所	建設課
林業集落定住基盤整備事業 笹川東用水路工事	笹川	6年12月	7,725,000	折谷建設株式会社富山郎	農林水産課
河川災害復旧 清水川災害復旧工事	清水町	6年11月	13,338,500	岡本組	建設課
県単農村環境整備事業 草野線舗装工事	西草野	6年11月	6,025,500	広川建設工業株式会社	農林水産課

あなたの本箱

朝日町立中央図書館（☎83＝0574）

新しい本

（一般書）
ちひろ美術館物語　松本由理子
もの食う人びと　辺見　庸
がんばれ！ティエン君　河内美舟
ドラマガイド　春よ、来い　日本放送出版協会
夢について　吉本ばなな
政と官　後藤田正晴
南国かつおまぐろ旅　椎名　誠
探偵小説のプロフィル　井上良夫

（小説）
天使の自立（上下）　シドニィ・シェルダン
永遠も半ばを過ぎて　中島らも
殺戮にいたる病　我孫子武丸
八百八町の名探偵　岡本綺堂他
五色温泉殺人事件　吉村達也
古畑任三郎　三谷幸喜
幸福の手紙　内田康夫
怪談　林真理子
流れ星の冬　大沢在昌
水底からの告発　浅黄　斑
蔦燃　高樹のぶ子
四十七人の刺客　池宮彰一郎
毎月の脅迫者　山村美紗

本の紹介

『骨壺の話』　水上　勉

天安門事件を眼のあたりにし、その帰国直後に心筋梗塞で生死の淵をさまよった著者。それを契機に死ぬこと生きることを見据えてはじまった骨壺作り。その心情と、日本人の生き方・死に方を考えるエッセイ。

生活必需品価格

10月分（毎月10日現在調査）　単位：円

	品名	平均価格 10月	前月比	前年同月比
石油製品	ガソリン（掛売1ℓ）	130	－1	－1
	灯油（配達18ℓ）	979	－16	－0
	LPガス（5㎥）	3,124	0	＋7
日用品	台所用洗剤（中性洗剤600mℓ）	255	＋16	0
	ティシューペーパー（400枚紙箱入り）	166	－1	＋7
	トイレットペーパー（故紙ロール4個組）	475	＋33	－28
加工食品	食パン（普通品6枚入り）	175	0	0
	マーガリン（450g1箱）	340	－1	＋3
	しょう油（1.8ℓペットボトル入り）	556	－1	－15
	サラダ油（ポリ容器700g入り）	335	－1	－79
	とうふ（もめん1丁）	101	－1	－2
	牛乳（1ℓパック入り）	249	0	－7
生鮮食品	牛肉（中肉もも100g）	444	＋32	＋34
	豚肉（中肉もも100g）	199	－15	＋2
	鶏卵（Mサイズ10個）	192	－1	＋14
	玉ねぎ（普通品1kg）	275	＋22	＋92
	ばれいしょ（普通品1kg）	206	－79	＋14
	キャベツ（普通品1kg）	281	＋95	＋52
	人参（普通品1kg）	444	＋78	－79

来年4月1日から

ごみの出し方が変わります！

指定されたごみ袋で

来年の4月1日から新川地区の2市3町では「ごみの出し方」が大幅に変わり、ごみを出す場合は新川広域圏事務組合が指定する半透明の袋を使用していただくこと（袋に入らない大きな物は〝ごみ処理券〟をはることになる予定です。

これにより、指定以外の袋を使ったり、ごみ処理券をはらずに出したごみは収集されなくなるほか、指定袋等に「町内名」を記入していただくことも必要になります。

一般家庭用の袋は可燃、不燃ごみそれぞれ別の色刷りとなり、大（1枚30円）、中（1枚20円）の2種類が予定されています。

「安心の暮らしの中心 火の用心」

秋の全国火災予防運動

11月9日から15日まで、秋の全国火災予防運動が実施されます。

これからは火災が発生しやすいシーズンです。火の元に十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。

期間中は午前7時と午後9時の2回、サイレンを吹鳴します。

11/13 消防団秋季演習

運動期間中の11月13日㈰、消防団の秋季演習が行われます。午前7時に町内全域でサイレンが吹鳴されるほか、消防車による巡回も行われますから、火災と間違えないようご注意願います。

また、大家庄小学校周辺（午前9時30分ごろ）と旧境小学校周辺（午前10時30分ごろ）で放水訓練を行います。周辺の皆さんのご協力をお願いします。

明日のあさひを考えよう

――町長と話す集いを開催――

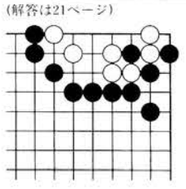
■日時　11月12日(土)　午後1時から
■場所　役場4階大ホール

町長とひざを交えて町の将来を語ってみませんか。多数のご来場をお待ちしています。

有段を目指して

（解答は21ページ）

詰碁



出題　十段　武宮正樹
黒先白死・7手まで
●ヒント：ダメづまり。
3分で1級、1分以内で有段者。

詰将棋

出題　九段　北村昌男
●ヒント：飛を取られる心配。角を取られる心配。
8分で2級、5分で初段。
持駒　銀

愛の献血

ご協力ありがとうございました。

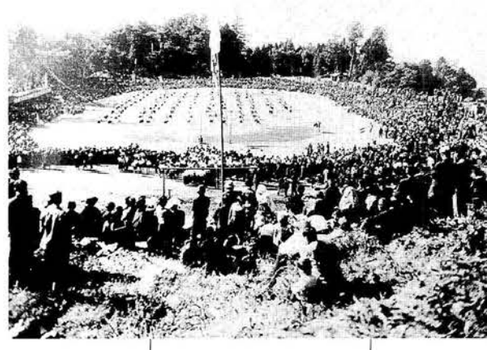
協力者名（9月実施分、☆印は400mℓ、※印は成分、その他は200mℓ献血者）

宮崎地区☆水島光久、植木昭弘　泊地区☆金森考志、☆舟川一俊、☆加藤真紀子、☆水島藤孝、☆大谷浩一、※竹内秀孝、※藤沢久夫、※平田千秋、※平野清彦、宮田まゆみ、山田竜也、谷口加奈子　五箇庄地区☆佐渡茂、☆勝原美千子、☆西田真佐夫、※佐渡俊成、※松倉秀夫、※長井秀朗、※西村康子、長井佐智子、重野真弓、広田一弘　南保地区　谷田智香、大森幹夫　山崎地区※秋山通済、江端孝雄　大家庄地区☆高島志津乃、藤田浩之　（以上30名）

◇ご寄付をありがとうございました

▽草野の追分としゑさんから亡夫健作さんが生前お世話になったお礼として町政発展のために10万円

懐かしのアルバム



『第1回町民体育大会開かれる』

昭和29年11月3日、町村合併を記念して第1回朝日町町民体育大会が小丸山グランドで盛大に開催された。

――「写真で見る朝日町のうつりかわり」より

11月の各種相談

時間　会場

1日（火）	心配ごと相談	13:00～16:00　福祉センター
7日（月）	裁判所出張調停相談	9:00～16:00　福祉センター
8日（火）	心配ごと相談・家庭児童相談	13:00～16:00　福祉センター
9日（水）	社会保険出張相談	10:00～15:00　役場会議室
15日（火）	心配ごと相談・行政相談 人権相談・税務相談	13:00～16:00　福祉センター
21日（月）	裁判所出張調停相談	9:00～16:00　福祉センター
	社会保険出張相談	10:00～15:00　役場会議室
22日（火）	心配ごと相談	13:00～16:00　福祉センター
	交通事故相談所巡回相談	10:00～15:00　黒部市福祉センター
29日（火）	心配ごと相談	13:00～16:00　福祉センター

11月9日は119番の日

119番の日

119番（火事・救急専用）へ電話をする時は、あわてず、落ち着いて次のようなことを正確に通報してください。

①火事であるか、救急であるかを伝える。
②場所（住所）はどこか、現場付近で目印になるもの。
③脱出できないでいる人の有無やけが人等の容体。

※火事等の問い合せは、一般電話でお願いします。
☎83＝0009

今月の納期

固定資産税（第三期）
国民健康保険税（第三期）

休日救急診療当番医

診療時間 午前9時～午後5時

11月3日㈭	丸川病院	☎83－3391
11月6日㈰	伊東医院	☎83－0504
11月13日㈰	坂東病院	☎83－2299
11月20日㈰	高桜医院	☎82－0010
11月23日㈬	橘医院	☎82－0791
11月27日㈰	寺崎医院	☎82－1118

あさひ総合病院

第2・第4土曜日は外来休診（試行）です。急患は夜間・休日を問わず24時間いつでも受付します。
☎83＝1160

診療日／日曜日・祝日　診療時間／午後7時～午後11時　所在地／黒部市消防署向側　☎54-0731

健康インフォメーション

問合せ：保健センター ☎83-3309　※母子手帳持参

事業名（対象者等）	月日 受付時間	会場
機能訓練（脳卒中後遺症者）	11月15日㈫ 13:00～13:30	保健センター
心の健康相談［予約制ですが電話での受付けもします。（☎52－1224）痴呆性老人の相談も受けます。］	11月7日・21日 いずれも㈪ 13:00～14:00	黒部保健所
子育て教室［生後1～2か月の赤ちゃんとおかあさん ※］	11月16日㈬ 13:30～13:40	保健センター
3か月児健診・脱臼検診（6年8月生まれ ※）	11月29日㈫ 13:00～13:30	あさひ総合病院 整形外科
4・5か月児健診（6年6月生まれ ※）	11月15日㈫ 9:30～10:00	保健センター
1歳6か月児健診（5年4月、5月生まれ ※）	11月24日㈭ 13:00～14:00	保健センター
育児相談（希望者 ※）	11月16日㈬ 9:30～11:30	保健センター
ジフテリア・百日咳 破傷風三種混合 予防接種［Ⅰ期 4年4月～4年9月生まれの人 ※ Ⅱ期 Ⅰ期の3回目終了後1年～1年半の人※］	11月1日㈫ 13:30～14:30 / 11月22日㈫ 13:30～14:30	保健センター［10月1日から予防接種法がかわりました。必ず母子手帳を持参して下さい。］
1歳児健診（5年10月、11月生まれ ※）	12月6日㈫ 13:00～13:30	保健センター
第一回禁煙教室 講師 結核研究所第二研究部 疫学研究科長 徳留修身先生	11月26日㈯ 9:00～12:00	黒部保健所
第二回禁煙教室「ビデオ上映と意見交換」 助言者 富山医科薬科大学 公衆衛生学教授 加須屋実先生 黒部保健所長 飯田恭子先生	12月10日㈯ 9:00～11:00	参加申し込み及び問合せは11月21日㈪まで黒部保健所保健予防課予防班まで（☎52－1224）

●健康体操教室及び健康相談（いずれも希望者）は、11月の毎週金曜日・午前9時30分から保健センターで、健康相談は毎週火曜日午後1時30分から老人福祉センター。11月16日は基幹集落センターでも行っています。

Health 保健センターだより

吉本珠実 保健婦

予防接種法が改正

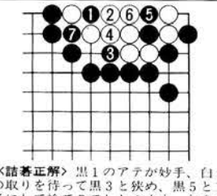
予防接種とは、伝染病の原因となるウイルス、細菌の毒素の力を弱めて予防接種液をつくり、それを体に接種して、その病気に対する抵抗力（免疫）をつくることをいいます。

平成6年10月1日から予防接種法が改正されたことに伴い、次のようなことが変わりました。

①予診票（問診票）の内容が変更になり、以前のものは使えません。当分の間は、会場で書きなおしていただきます。印鑑は必要ありません。
②当日、会場で体温を測ります。
③予防接種液の内容等を記入しますので、母子手帳は必ず持参してください。

お母さんから赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力（免疫）は、生後3か月から8か月ころまでに自然に失われていきます。これに役立つのが予防接種です。子供の成長と共に外に出ることが多くなります。対象月齢のうちに早めに受けましょう。来年4月以降の接種法等については、広報などでお知らせします。

詰碁と詰将棋の解答



〈詰将棋正解〉3三銀、1二玉、1一飛成、同玉、2三桂、1二玉、1一桂成、同玉、2二金まで9手詰め。
〈解説〉初手2三角成（あるいは桂成）は、3一玉で詰みません。3三銀が好打で、3一玉なら2三桂で詰み。3三銀のとき、1三玉なら2三桂成、同銀、同角成以下優しい詰み。正手順は、飛や桂を成り捨てる軽快な問題でした。
（問題は19ページ）

〈詰碁正解〉黒1のアテが妙手、白2の取りを待って黒3と狭め、黒5と二子にして捨て7でしとめます。白2で3と打つのは黒2、白7、黒3のなでダメヅマリに。

ガソリンスタンド休日当番店

11月3日㈭	朝日石油	☎82－0661
11月6日㈰	大谷石油	☎82－0703
11月13日㈰	小川石油	☎83－3033
11月20日㈰	浜岡商店	☎82－0578
11月23日㈬	中央農協	☎83－1135
11月27日㈰	朝日石油	☎82－0661

✚ 新川地区休日夜間急患医療センター

おすこやかに

扇谷	元基（克由・香彦）	長男	宮崎	
村澤	駿（実美・智代）	長男	東下町	
長井	真（司智恵・美）	2男	弥生町	
大窪	泰士（雅由紀・彦子）	2男	東草野	
竹中	吹雪（祐志・治保）	長女	西町	
吉江	純菜（昌傑・宏子）	長女	草野	
青島	瑞希（辰育・治子）	長女	町南保	
小林	航（光弥・義生）	長男	竹の内	
廣澤	南（聡真由美・幸薫）	長女	下山新	
右井	樹基（博・幸薫）	長男	下野	

3人目誕生 おめでとうございます

川合	彩華（進麻理子）	長女	上道下	
伊藤	茜（慎典・一子）	長女	大家庄	

おしあわせに

水島	寿治	境	市川町
水市	陽子	岡	町町
竹内	渉	善本	町野
大西	美園	市草川	町野
折谷	弘正	高笹	町野
寺崎	美淑	入宮	町野
水島	孝藤	上中滑	町野
新田	子治	草	町野
篠田	人正	草	町野
篠田	喜子多		町野

ごめいふくを

水島	ヨシエ	(85)	崎	町町
水野	正	(79)	田下	町町
竹内	ツヤ	(82)	下浦	町町
丸山	鹿野助	(93)	三草	町野
永見	悦子	(56)	越家	庄橋
岩田	新一	(56)	枚山	新野
勝原	壽	(69)	宮神	大三
青木	克元	(78)	東東	下下
廣田	あや	(77)	東東	下下
金森	孝次郎	(93)	東東	下下
右井	潔	(79)	東東	下下

※このコーナーに名前を載せてほしくない方は、役場住民課受付けにお申し出ください。

故郷の人をＡＤＡＣＨＩの世界へ

―― ふるさと美術館で安達博文展 ――

朝日町辻岩崎出身の洋画家、安達博文さんの個展が九月二十二日から十月二十三日まで、ふるさと美術館で開かれました。

卵を使ったテンペラ画で知られる安達さんは、昭和二十七年生まれの四十二歳。明るい色彩とひょろひょろとした独自の線で人物画を描き、若き新鋭作家として活躍しています。

今回は高校時代の作品から文化庁派遣研修員としてイタリアで制作された新作などを含む約四十点を展示。安達芸術の軌跡をたどる内容となりました。

また、期間中の十月二日には安達さん本人を招いた作品鑑賞会も開かれるなど、多くの皆さんが安達さんの作品と飾らない人柄にふれました。

ふるさとの旬を送ります

―― 「味のふるさと便」を発送 ――

朝日町の旬の味覚を年四回に分けてお届けする「味のふるさと便」の第二便が、十月十七日に発送されました。

今回のメニューは、コシヒカリの新米三㌔と南保特産のさわし柿十個。それにチューリップの球根や山の香りたっぷりの松の葉などを添えて送りました。

北海道から熊本県まで、二百六十二人の会員の皆さんのうれしい顔が見えるようです。

―― 「新世紀の翼」20人が韓国を訪問 ――

38度線の緊張も体験

新世紀に向けた町づくり、人づくりを目的とした朝日町海外派遣交流事業「新世紀の翼」。六回目を迎えた今年も、魚津町長を団長に中学生を含む団員二十人がお隣の国、韓国を訪問しました。

一行は十月一日に富山空港から韓国入りし、五日間にわたって滞在。釜山（プサン）、慶州（キョンジュ）、扶餘（プヨ）、ソウルなどの各地を視察しました。

なかでも板門店では、南北会議場や非武装地帯などを見学し、いまだに緊張を続ける世界情勢の一端を実感するとともに、日本と韓国との交流の深さを再認識。異国の地でさまざまなことを学んできました。

まる一日 モクモクと

―― 不動堂遺跡で薫蒸作業 ――

国指定史跡「不動堂遺跡」の復元住居から十月四日、もくもくと白い煙が立ち上りました。

実はこれ、かやぶき屋根のふき替えに伴う〝薫蒸〟と呼ばれる作業。ナラやカエデなどを燃やし、その煙で害虫を駆除するとともに、内部の木やかやの腐食を防ぐのがねらいです。

薫蒸作業は人にとっても煙との戦い。涙なくして遺跡の保存も難しいようです。

若さを手おくり

―― 郡高齢者スポーツ大会 ――

十月十二日、下新川郡高齢者スポーツ大会が朝日町文化体育センターで開かれました。

大会には朝日町、入善町、宇奈月町の三町から高齢者の皆さん約三百人が参加。「順送球」や「出たとこ勝負」など八種目に熱戦を展開、さわやかな汗を流しました。

軽快な身のこなしはもちろん、はじける笑顔も若さいっぱい。高齢者と呼ぶのは失礼かも？

町で一番高いトイレです

―― 朝日平キャンプ場にトイレ新設 ――

朝日平キャンプ場（標高二一四㍍）に山小屋風のトイレが完成しました。

照明や換気扇にソーラーシステムを取り入れた新しいトイレは、広さ約二十二平方㍍。県が四千五百万円をかけて建設しました。

資材をヘリコプターで運んだため高くついた費用もさることながら、町で最も高い所に位置するトイレにもなりました。

高山植物帯を横切ることなく使えるこのトイレ、登山者の皆さんにも喜ばれそうです。

今月の表紙

新しい校舎 新しい友達

さみさと小学校が完成

泊、宮崎、笹川、境の4つの小学校を統合、4月に誕生した「さみさと小学校」の新校舎が完成。9月30日に待望の入校式が行われました。

新校舎は鉄筋コンクリート建てて、一部半円型のモダンなつくり。総工費20億3500万円をかけて建設されました。

新校舎ができるまで4つの教場に分かれていた子供たちも、この日からはいっしょ。新しい友達も増え、元気に勉強を開始しました。

あさひの美術

ふるさと美術館 名作鑑賞室

憩う娘たち（キャンバス・水彩　1978年作　111×144㌢）

荒谷直之介…1902年（明治35年）～1994年（平成6年）

浜辺に明るい話し声がこだまする。ピクニックにでもやってきたのであろう三人の娘たち。肌を露出した気軽なスタイル。気取りのない自然な女性の姿が、すがすがしく描かれている。

特に人物描写に定評があったが、優れたデッサン力と洗練された水彩画のテクニックで、若き女性のみずみずしい美しさを描くとともに、女性の内面的な美しさが伝わる。また、三人の女性を配した画面構成は、なみなみならぬ配慮がなされ三人のとどまることのない会話が聞こえてくるようである。

洋画家荒谷直之介は、富山市出身。画家を目指して上京、黒田清輝に師事する。油絵重視の洋画界にあって、水彩画を志し、日本水彩画会展、新文展、戦後は、日展や一水会長などで活躍した。

作品は、写真的でオーソドックスであったが、その巧みな作風によって日本水彩画壇の第一人者として評価されている。

ふるさとを描く10人展

10月28日(金)～11月13日(日)
午前9時～午後5時
入場無料

広報室

▼『できるだけ主観を入れず、客観的に事実だけを伝えてください』。九月の末、米丘寅吉さんのお宅に「蛭谷紙」取材のお願いに行ったとき、そう言われた。努力してはみたものの、果たしてどうだっただろうか▼話を聞きに、写真を撮りに、何度となく蛭谷へ通った。紙づくりに関する知識もないまま、同じようなことを幾度も尋ねた。いやな顔ひとつせず、納得するまで答えてくれた米丘さん。作業の途中、そばにあった荷物を持とうとした私に『いやいや、結構です』と、手を振った姿が思い出される▼短い期間ではあったが、何度も触れあううちに、紙と米丘さんに深い情を抱く自分自身に気付いた。初めの約束を忘れかけていた▼『私などより、〝この道何十年〟という人が身近なところにもたくさんいるはず』と米丘さん。主観を排するということは、自分の知らない世界に対し常に謙虚な姿勢で臨むことか、と思う。

〔町の人口〕男 8,221(＋ 4) 女 9,392(－ 2) 計 17,613(＋ 2) 世帯数 5,193(＋ 5) 10.1現在( )は前月比